

令和5年度 第1次公募要領 補足説明

(1) 補助対象経費項目について

・「謝金」

申請者及び構成員と生計を一にする三親等以内の親族への謝金は補助対象外となります。

・「旅費」

申請法人・団体等の構成員^(※)や外部から招聘した講師・専門家等に対する交通については、鉄道、バス、汽船、航空機等の公共の交通機関を利用した場合の実費とし、費用が最も低廉な経路を原則とすることとなります。

レンタカー利用については、補助対象外となります。また、タクシーについては、使用基準があります。公募要領の3頁をご確認ください。

(※) 申請書の構成員・会員名簿に氏名の記載のある構成員・会員

・「消耗品費」

食材費は、料理教室で用いるレシピ・メニューに記載のある食材、新たな名産品の試作のための材料等のみを補助対象とします。

参加者へ提供する、『トン汁』『芋煮』『バーベキュー』などは、すべて補助対象外となります。取組の中で提供する場合は、事業者様の『自己資金』でご対応をお願い致します。公募要領の3～4頁をご確認ください。

・「補助員人件費」

申請者及び構成員と生計を一にする三親等以内の親族への人件費は補助対象外となります。また、業務内容を鑑み、妥当とされる金額が補助対象となります。

・「印刷製本費」

取組イベントの規模にあわせたチラシ等の作成部数が補助対象となります。

(2) 「相見積」について

・「消耗品費」

1 売買契約が10万円以上の場合に、2者以上からの見積りを必須とします。
単価が10万円未満でも、合計額が10万円以上であれば対象です。

相見積先がない場合などは、選定理由書を必ず作成してください。

- ・「消耗品費以外」

2者以上からの見積もりを必須とします。

相見積先がない場合などは、選定理由書を必ず作成してください。

(3) その他の注意事項

- ・申請書「5. 補助事業（取組）について ①内容」【謝金補足】について

謝金がある場合は、予定している講師・専門家の氏名、プロフィール（経歴、過去の実績など含む）、謝金の算定基準（金額の根拠）を具体的に記入してください。

審査基準の対象となりますので、公募要領の9頁をご確認ください。

- ・補助事業（取組）内容について

過去につながり支援事業補助金の利用実績がある取組を継続して行う場合は、前回よりもつながりを広げる活動を行う必要があります。こちらも、審査基準の対象となりますので、公募要領の9頁をご確認ください。

- ・「参加者リスト」

別紙「参加者リスト」をご提出いただきます。採択後の事務処理説明会資料でもご案内させていただきますが、申請書の提出前に一度ご確認ください。

※上記に関してご不明な点がありましたら、事務局に必ずお問い合わせください。